

四季彩便り

2006・梅雨

発行人
サニー光が丘
漢方四季彩堂
酒見 裕子
(092)927-2693

おかげさまで一周年

当店は、「漢方四季彩堂」に生まれ変わっては
や一年が経ちました。

季節はめぐり、昨年移転した折、国道200
号線バイパス上に沈む夕日をうっとり眺めた
あの感動が甦ってきました。

今日は夕陽が梅雨雲を赤く
染め上げ、それは見事でした。

今年の夏至は六月二十一日。



昼間(陽)の時間が一年中で最も長い日で、
この日を境に昼は徐々に短くなりますが、暑さ
は逆に増していきます。

半夏生(七月二日〜七日頃)

*カラスピシヤク(生薬名半夏が生える頃)

小暑(七月七日)暑さが本格的になる頃

大暑(七月二十三日)最も暑い頃

夏本番です。

「幸せは心と体の健康から」

初心を忘れず、今後も皆さんのお役に立てるよ
う努力を重ねて参ります。



梅雨の中医学講座

梅雨のじめじめ湿っぽいこの季節
は私達の体も湿気の影響を受けやす
くなります。

気分がスッキリしない・食欲がな
い・体が重くだるい・などの症候は
体内の水分代謝がスムーズにいか
ない(湿邪)ためにおこります。

勝湿顆粒(藿香正気散)は

体内の余分な湿気を除き、
気分をさわやかにする漢方薬です。

生ものや冷たいもの・脂っこいもの

の摂り過ぎを避けることも、体に

「湿邪」を溜めないポイントです。



折々の薬草

スイカスラ (生薬名 金銀花)

初夏、日当たりの良い林縁に香り高い花を
咲かせるつる性植物です。

花は最初白色ですが次第に黄色に変化しま
す。花筒を抜いて吸うと、蜜が甘いのでスイ
カスラと呼ばれています。

薬用には花蕾を乾燥させたものを清熱解毒
に用います。

抗菌・抗ウイルス作用が強いので、化膿し
た皮膚病・赤み・腫れ・熱感・痛み等がある
時には必ず使用します。

漢方の抗生物質とも称される銀翹
解毒丸・天津感冒片の主要な生薬です。



スイカスラ



ぎんぎょうげどくがん



てんしんかんぼうへん